

新宮山彦ぐるーぷ第2339回

行仙宿補給路拡幅用の橋桁作りなど

◇実施日 12月3日(火)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

11月12日に杉本さんに手伝っていただき、斜面から登山道に引き上げた5mの丸太を橋桁用の板に製材した。また、第2ベンチの増設した部分を修理した。



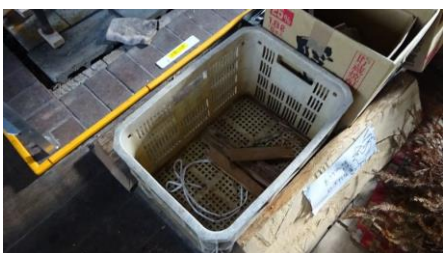
アングルが積んであった

丸太が4本

脚が外れたベンチ

午前9時半過ぎに登山口に着くと、モノレールに長さ4m位の鉄アングルが積んであった。先日児嶋さんから聞いていたアングルのようだ。直径8cm長さが3m位の丸太が4本。こちらは先日モノレールを使った森林組合が持ってきてくれたものらしい。

モノレールで第2ベンチ迄上がり、脚が外れていたベンチを修理する。この増設したベンチは2021年の5月に山川さんと高階美根子さんと3人で板と丸太を運んで設置したものだ。脚が外れたのは丸太が腐食してきたことが原因のようなので、腐食の心配がないアルミ材で脚を作った。



修理完了

マキが無かった

製材開始

児嶋さんの鉄アングルは橋に使うには長さが足りないが、とりあえず終点にデポした。

チェーンソーを持って行仙宿に向かう。小屋に着いて中に入るとマキを入れたコンテナが空になっていた。3週間前に一杯にしておいたので、この3週間の間に何度かストーブが使われたようだ。コンテナにマキを入れ、ストーブにも火を入れた。

チェーンソーと燃料などを持って小屋南の丸太を切り始める。長いので時間がかかり、一枚目を切る目途がつくまで40分かかった。お昼前だったので小屋に戻って昼食を摂る。玄関わきの温度計は1

1℃を差していた。例年の12月と比べるとかなり温度が高い。おかげで屋外の作業も苦にならなかった。食後は1枚目の製材の続きを始める。5分ほどで1枚目が出来上がり2枚目を切り始めた。少し細い部分になったので2枚目は30分弱で切り終えた。出来上がった2枚の板は厚さが10〜8cmあり、重くて一人では運べなかった。



一枚目完了

2枚目も出来上がり

本日の参加者

チェーンソーなどを小屋に運び、端材をストーブに入れコーヒーで休憩してから下山した。

今回の製材作業は複数人ではできないので、敢えて一人で行った。
(記：梶野)

行動タイム

09:35 補給路登山口→10:03 第2ベンチ 10:20→10:26 コジマハ
ウス→10:42 行仙宿 14:42→15:15 補給路登山口